第1111回教育委員会（定例会）会議録

公　開

1　日時場所
令和２年１月24日（金）　午後２時
県庁教育委員会室

2　出席者
稲荷教育長、山本委員、小林委員、井口委員、三井田委員、松山委員
（事務局）藤澤教育次長、須貝教育次長、鴻江総務課長、加藤財務課長、藤田福利課長、佐藤義務教育課長、藤井高等学校教育課長、鈴木生徒指導課長、信田生涯学習推進課長、佐藤文化行政課長、灰野保健体育課長、企画主幹、総務・財務・福利・義務・高等学校教育・生徒指導・生涯学習推進・文化行政・保健体育各課長補佐、総務課総務係長、総務課総務係主任

3　開会
午後２時

4　議事日程の承認
第1111回教育委員会の議事日程及び議事順序を承認した。

5　会議録（公開分）の承認について
第1110回教育委員会（定例会）会議録（公開分）を承認した。

6　報告
(1)　**公立学校事務職員等の人事異動について**
事務局から、係長級の人事異動を行った旨報告があった。

7　その他
(1)　**不利益処分に関する訴訟事案について**
事務局から、不利益処分に関する訴訟事案について報告があった。

(3)　**令和２年度新潟県立中等教育学校の入学者選抜状況について**
事務局から、令和２年度新潟県立中等教育学校の志願・受験・合格状況について報告があった。
なお、次のとおり質疑があった。

小林委員	燕中等教育学校は、昨年と比較してかなり志願者数が減っているが、何か事情があるのか。
藤井高等学校教育課長	例年、燕中等に多くの志願者を出している小学校の生徒達の学力が、今年は少し不足していたというふうに聞いており、そのため、若干志願者数が減ったのではないかと予想している。
山本委員	佐渡中等教育学校の志願者数も少ないが、こちらはどういった影響か。
藤井高等学校教育課長	佐渡は基本的に子どもが少なく、高校の方でも全ての高校で定員に満たないという状況である。佐渡中等教育学校もこれまで２学級の募集であったところ、今年から１学級での募集とし、26 名が志願し、25 名の合格となった。子どもの数が少ないためにこのような状況となっている。

(4) 令和元年度　第２回　深めよう　絆　にいがた県民会議総会について

事務局から、１月16日に開催した会議の開催内容及び今後の方向性について報告があった。

(5) いじめ対策総点検等の状況について

事務局から、高等学校等におけるいじめ対策総点検等の状況について報告があった。
なお、次のとおり質疑、意見等があった。

山本委員	資料３ページの表中４の保護者との連携の部分、結果を保護者に公表しているかという基準について、ホームページに掲載している割合が約半分となっているが、その他のやり方で保護者に公表を行っていたりするか。
鈴木生徒指導課長	チェックシートの設問には、第１回目の点検で行った内容を記載した上で、ホームページを通じて保護者や地域も含めて広く伝えてもらうよう学校にも依頼していたが、徹底が図られず、今回の半数程度という結果となった。 ただ、いじめに関する学校の基本方針等の事柄については、全ての学校でホームページに掲載し、周知を図っている。
山本委員	今回の調査では、ホームページに掲載していないところも５割程度ある。掲載していないところに対しては、掲載するようにという指導を行うのか。

鈴木生徒指導課長	今回２回目の点検を行ったことから、それと合わせて、こういった取組を行っていることについて周知するよう指導してまいりたい。
三井田委員	５の未然防止の部分で、Ａランクに「通年や１ヶ月など長期間に渡り、いじめの未然防止の視点を入れた取組を実践している」とあるが、具体的にはどのようなことを行っているのか。
鈴木生徒指導課長	例えば、朝のあいさつ運動の際に生徒自身がいじめをなくそうという呼びかけを定期的に行う等の取組がこの中に含まれている。
小林委員	以前も指摘させていただいたが、必ずやらなければいけない事柄というものがあり、100 パーセントになっていなくてはおかしい項目がある。単純に点検をもう１回行ったということだけではなく、学校に対し、ある程度期間を決めて、いつまでにやるようにということを働きかけていかなければならない。 早めに全ての項目でＡ評価にならなくてはいけないと思うし、これから４月になれば、また新しい教員達も入ってくる。いじめの問題については県をあげて取り組んでいる問題であり、やはり校長にもその認識で動いてもらわなければならない。
鈴木生徒指導課長	委員御指摘のとおり、こちらとしても、学校に対しては今後いつまでにということを提示していきたいと考えている。１日も早く100 パーセントになるように働きかけてまいりたい。
松山委員	先ほどの山本委員の質問で聴き洩らしたのかもしれないが、点検結果をホームページに掲載しているか否かという部分で、公表の仕方は、ホームページの他に何か行っているのか。
鈴木生徒指導課長	今回の総点検において我々が考えていたのはホームページのみであり、それ以外のものを通じて公表するということは指示していなかった。
稲荷教育長	公表の趣旨というのは、幅広く地域の方も含めて知らしめることなのか、それとも保護者に知らしめることなのか。
鈴木生徒指導課長	まず保護者に、ということもあるが、ホームページは誰でも閲覧することができることから、その学校に注目していただいている方々に対して、このような取組をしているということを知ってもらうためでもあると考えている。

松山委員	高校のホームページをどの程度の方々が見ているのかという部分もある。私は、自分の子どもが通っている学校のホームページを先日初めて見た。基本的に親も多忙であるため、必要がなければ、わざわざ自分の子の学校のホームページを逐一見ないのではないか。もし保護者に見てもらいたいのであれば、プリントのように必ず目に触れるような形で配布をした方が効率的なのではと感じた。
稲荷教育長	先ほどの私の質問とも関連するが、関連の強さという点では、やはり、直接の当事者である保護者の方を重視せざるを得ないのではないか。ホームページで知らしめること自体は悪いことではないが、今の委員の御発言も、関係の強い方のところには可能な限り行き渡るようにという趣旨ではないか。
松山委員	この形で結果を公表しても、この部分が出来ていないと思う、という保護者の意見がなかなか反映されてこないのではないかと感じた。
鈴木生徒指導課長	確かに、その部分が弱かったと感じている。いじめの定義の周知についても、教員の方はだいぶ進んできたとはいえ、保護者や生徒の方はまだ不十分な点が見られることから、御意見を参考にさせていただき、保護者や生徒の方に視点を置いた広報も含め、検討をしてまいりたい。
稲荷教育長	ある意味、教育委員会が行う点検でどのような評価を得ているかということを示すことで、学校や教員に対してプレッシャーをかけるという機能もある。先ほどの御指摘にもあったように、いつまでもＡにならないとおかしいような項目もあり、逆に公表をすることで、取り組んでいない学校に対しプレッシャーをかける意味合いもある。そのあたりも含めて、今後のあり方を検討してまいりたい。
井口委員	今の話に関連してだが、例えば病院であれば病院機能評価というものがあり、公的な評価機関が評価し、ある程度の点数をとると、病院機能評価からＡランクの病院であるという認定証が発行される。病院はそれを患者さんから見える場所に貼って、認証を受けていることを示したりもするが、学校も、例えば公的な機関や教育委員会等が認証をして、きちんと取り組んでいる学校に対し証書のようなものを配布して、貼ってもらうということを行ってはどうか。
鈴木生徒指導課長	各学校に対して、そういったことを行うところまでは考えていな

	かったが、一つの形としてそういう取組もあるということで検討させていただきたい。
井口委員	学校には、全国的にそういった評価を行う機構のようなものはあるのか。
稲荷教育長	それは聞いたことがない。
井口委員	大学では、最近割とそういうものが入り始めており、第三者評価等を行うようになってきた。
稲荷教育長	ある意味、松山委員の御発言との共通項のような部分がある。私の見方では、結果に数字が２つ並べられているのは、前回問題があったために再度アンケートをとっているという意味であり、全体から見れば、向上しているということは言えると思う。 一方で、いじめの定義の項目と同様、今回初めて統計をとった校長の関わりという部分で、1-（1）の項目についても100パーセントを目指すべき項目であると思っている。この部分をいかに上げていくかという意味で、先ほど御指摘のあった保護者への情報提供やランク付けの話も含め、来年への課題ということで検討させていただきたい。
小林委員	点検の項目によっては、プラス評価ではなく最低限クリアしなくてはならないものがあると思う。そのような項目と、努力が必要という項目は違っていて、評価する以前の問題の項目も多々ある。そういった項目については、先ほど申し上げたとおり、いつまでに行うようにという話をきちんとしていかなければならない。
稲荷教育長	そのあたりも含めて検討課題とさせていただきたい。

(7) 令和元年度全国高等学校総合体育大会　第69回全国高等学校スキー大会の開催について

事務局から、２月３日に開会する同大会の概要について報告があった。

以上で、公開分の日程を終了した。

第1111回教育委員会（定例会）会議結果

非公開

8　公開分に引き続き、非公開と決定した議事に入った。

9　会議録（非公開分）の承認について
第1110回教育委員会（定例会）会議録（非公開分）を承認した。

10　議案審議

第44号議案　令和２年度当初予算について

事務局から、令和２年度当初予算案を２月県議会に提案したい旨説明があり、審議の結果、全員異議なく原案どおり可決した。

第45号議案　新潟県立学校条例の一部改正について

事務局から、阿賀黎明中学校の閉校に伴い、新潟県立学校条例の改正案を２月県議会に提案したい旨説明があり、審議の結果、全員異議なく原案どおり可決した。

第46号議案　新潟県文化財保護審議会への諮問について

事務局から、県指定有形文化財４件を新規指定、１件を追加指定するにあたり、その候補物件を新潟県文化財保護審議会に諮問したい旨説明があり、審議の結果、全員異議なく原案どおり可決した。

第47号議案　教職員の人事措置について

下越地方高等学校男性教諭の体罰に係る人事措置（減給１月）について、審議の結果、全員異議なく原案どおり可決した。

11　その他

(2)　不利益処分に関する審査請求事案について

事務局から、不利益処分に関する審査請求事案について報告があった。

(6)　県立高等学校の生徒指導状況について

事務局から、県立学校の生徒指導状況について報告があった。

(8)　教育行政上の諸課題について

意見交換された事項は次のとおり。

・いじめ対策総点検について

12　閉会

午後３時40分